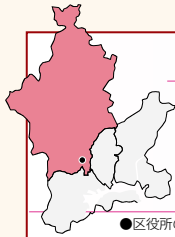


※人口は住民基本台帳による数（令和4年6月30日現在）



人口：295,653人 面積：450.70km² ■北区役所 〒700-8544 北区大供一丁目1-1(市役所本庁舎および分庁舎内)

北区 岡山市マイナンバーカード駅地下臨時交付センターをご存じですか

●区役所の位置

マイナンバーカードは健康保険証や本人確認書類として使えるほか、コンビニなどで住民票や印鑑登録証明書などを100円割引で取得できます。また、9月末までにマイナンバーカードを申請し、交付されると、来年2月末までマイナポイントの申し込みができます。

「まだ持っていない」「手続きがよく分からない」という人は、「岡山市マイナンバーカード駅地下臨時交付センター」を利用してみてはいかがでしょうか。どの区にお住まいでも申請と受け取りができます。また、受け取り時にはマイナポイント

の申し込み手続きの支援も受けられます。

マイナンバーカードの受け取り以外は予約不要ですので、お気軽にお越しください。

●場所

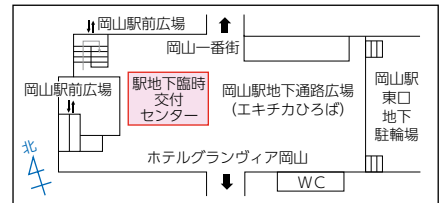
岡山駅地下通路広場
(ももたろう観光センター跡地)

●開所時間

平日（火曜を除く）12時30分～19時、
土・日曜10時～16時30分

●閉所日

毎週火曜、第3土曜の翌日曜、月・水～金曜の祝日（火曜が祝日の場合は翌平日）、年末年始



●申請・予約交付・マイナポイント申込支援について

岡山市マイナンバーカード
コールセンター

☎0120-425-609

●マイナポイントについて

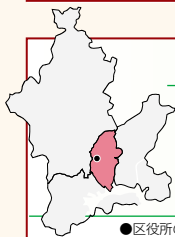
マイナンバー総合フリーダイヤル

☎0120-95-0178

●問い合わせ

北区役所市民保険年金課

☎086-803-1124



人口：147,298人 面積：51.24km² ■中区役所 〒703-8544 中区浜三丁目7-15

中区 ぎおん 祇園用水～潤いと憩いの水辺空間～

●区役所の位置

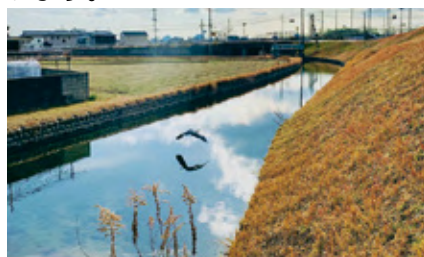
ぎおん 祇園用水は、北区玉柏の旭川右岸にある旭川合同堰で取水され、旭川の地下を横断し、中区北端の祇園地区から地上を流れる水路です。祇園大樋でいくつかの水路に分かれますが、祇園用水はそのまま幹線水路として、三幡地域へと至り、旭川左岸の農地を潤しています。

開削時期は、宇喜多秀家が岡山城を築城したころと言われています。昔はたびたび用水が氾濫し、これを鎮めるために川沿いのお地藏様を投げ入れたことから地藏川とも呼ばれています。

旭川の清流からの導水で上流部は

特に水質が良く、今も川底が砂地のところが多いため、藻が繁茂し、国の天然記念物アユモドキなどの希少生物の宝庫となっています。

生活に潤いと憩いの場を提供してくれるこの豊かな水辺空間を守るため、地域の人たちも用水清掃などの積極的な環境保護活動に取り組んでいます。



▲祇園用水上流部



●問い合わせ

中区役所農林水産振興課

☎086-901-1623

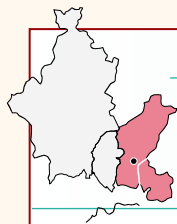
■各区役所への電話は、市役所代表番号からおつながります。

市役所代表

☎086-803-1000

人口：93,133人 面積：160.53km²

■東区役所 〒704-8555 東区西大寺南一丁目2-4



東区 宇喜多氏ゆかりの城～亀山城（沼城）跡～

東区沼にある亀山城跡は、城下町岡山の礎を築き、岡山開府の祖といわれる宇喜多氏ゆかりの城跡です。

亀山城は戦国時代、沼地の中に島状に並ぶ2つの丘陵に築かれた山城で、本丸と二の丸があった弁天山の姿が亀に似ていることから、その名が付けられました。元は中山信正なかやまのびまさの居城でしたが、永禄2年（1559年）、宇喜多直家うきただなおいえが主君の命で信正を謀殺し、城主となります。以来、岡山城に移るまで14年間、この城を拠点に勢力を拡大し、戦国大名へと飛躍を遂げました。また、後の豊臣政権の五大老うきただひでいえ・宇喜多秀家は、元亀3年

（1572年）にこの城で誕生したといわれています。今年は秀家生誕450年にあたります。

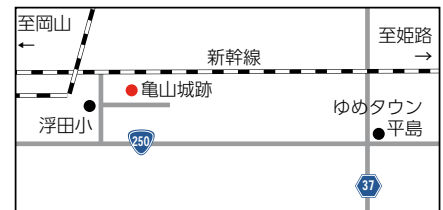
本丸跡には、岡山城築城400年の際に犬島の御影石で造られた「直家飛躍の地・秀家生誕地・亀山城跡」の碑や、直家・秀家にまつわる物語を記した説明板が立てられています。



▲亀山城跡に建つ記念碑

また、八丈島に流刑になった秀家が自分で植えたとされ、住居跡に今も残るソテツを株分けしたものが、八丈島の秀家顕彰グループから贈られ、植樹されています。

一度亀山城跡を訪れ、歴史に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

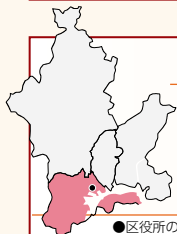


●問い合わせ

上道地域センター
☎086-297-4211

人口：167,378人 面積：127.48km²

■南区役所 〒702-8544 南区浦安南町495-5



南区 興除新田開発200年記念事業について紹介します

●区役所の位置

古来、県南部は「吉備の穴海」と呼ばれる広い入海でした。河川により土砂が運ばれ少しずつ遠浅な海となり、江戸時代に入り干拓が本格化していきました。

後に興除となる干潟の開発は、江戸後期1720年に幕府に開発申請がされたものの、海面の国境問題（備中側と備前側）や猟場争いなどが複雑に絡み合い、開発の命が出るまでに100年を要しました。

備前側が1823年に新田を完成させ、地名を中国書物「管子」の「興利除害」（害を除いて国を豊かにする）を由来として「興除」と命名しました。

興除新田が誕生して来年で200年を迎えます。地元興除地区では令和5年11月26日の記念式典に向け、実行委員会が記念碑の建立や記念誌の作成など準備を進めています。

また、同年12月には、地元有志（kojo-kojo委員会）が干拓200年を描く演劇を上演し、分かりやすい手法で歴史継承を行う予定です。



▲興除地区の田園風景

先人の思いをつなぎ、郷土に誇りを持ち、住みよい郷土となることを目指して、地域ぐるみで記念事業に取り組んでいます。記念事業を盛り上げるため広報紙の発行やSNSでの情報発信も行っています。下記のQRコードからぜひご確認ください。

●問い合わせ

興除新田開発200年記念事業
実行委員会
✉Kojo200th@gmail.com

